

民主化闘争情報

No. 814
2011年2月15日
発行 日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

2月10日の衆議院予算委員会で自民党平沢勝栄議員は、枝野内閣官房長官に対し、政府が革マル派の浸透を認めているJR総連・東労組との関係について詳細にわたり質問したほか、与謝野経済・財政担当大臣にもJR総連組織内議員に対する現在の認識を質すなどした。

JR総連・東労組の「業務上横領事件」警察「ヒアリング」問題などを審議 国会でのJR総連革マル浸透問題追及はなお続く!

現在開会中の第177通常国会では、2月1日、8日に続き、今回、衆議院予算委員会で3回に亘って繰り返しJR総連・東労組への革マル派浸透問題が追及されることになった。この問題への社会的な注目度はますます高まっている。

平沢議員は枝野長官に対し、「週刊文春」(2月17日号)でも取り上げられた、2005年12月16日にJR総連の意向を受けて行われた警察庁警備局などに対する「ヒアリング」について詳細に質問した。なお、枝野長官は「質問主意書に対する答弁で内閣としても認識している(JR総連・東労組への革マル派浸透の)問題は、共有して認識しておりますので、そうした浸透している(革マル派の)勢力の影響を受けないように留意していかなければならないと思っております」と答弁した。

(平沢議員)官房長官は利用されることのないように、と言っていますが、利用されているのですよ、官房長官。そしてJR連合は、JR総連というのは革マルに毒されているということを言っているわけです。JRの中の組合が言っているわけです。…(中略)…「厚生労働省等ヒアリングの開催について」というのがあります。官房長官は呼びかけ人の一人なんですけども、これを主催したのはどこなんですか。官房長官も出ておられますけれども。(枝野長官)ILOで採択された報告書にある、ILOからの要請について、関係省庁からヒアリングした記憶はございますが、様々な役所から様々な案件についてヒアリングするということは、今、平沢議員もされているかと思いますが、日々、1日に何件もございまして、5年以上も前のこととございまして、詳細は記憶しておりません。(平沢議員)そもそも、この呼びかけ人の、この紙はおかしいですか、呼びかけ人は国会議員で、そして、出欠の連絡、FAXの返送先はJR総連ですよ。一番下をみてください。お問い合わせ先は、JR総連政治部長になっているのです。官房長官、JR総連と一体となってやって、JR総連の代理人として動いているのではないかと、このペーパーを見てくださいよ。

自民党の追及はJR総連組織内の田城議員の存在に及ぶ!

さらに与謝野大臣には、前回参院選時に「たちあがれ日本」の政見放送や街頭演説でJR革マル問題を厳しく批判したことを指摘、JR総連組織内議員の存在について認識を質した。

(平沢議員)与謝野大臣は、去年、「たちあがれ日本」を立てた時、政見放送でこう言っているんです。…(中略)…私が一番ひどいと思うのは、あの過激派の革マルの代表が民主党の比例に入っている、これはもう許し難い、と。…(中略)…それで、街頭演説、渋谷の駅前の街頭演説で何と言ったかという、…(中略)…民主党は革マルそのものを立候補させている。今ここに列車が走っているけれども、JR東労組は革マルの牙城なんです。その革マルの親分の松崎さんの一の子分が民主党の全国比例で出てくるんです。日教組もいれば、やはり過激派の代表まで民主党の候補に入ってくるというのは異常なことなんです、こう言っているんです。去年言われたわけでしょう。街頭で言われ、政見放送でテレビでも言われた。それについてどう思われますか。…(中略)…許し難いとテレビの政見放送で言って、その民主党政権に閣僚として入って、こういうことは許しているんですか。事実上、許していることになるじゃないですか。(与謝野大臣)許してもいないし、許してもいない。私は閣僚として仕事をやるだけでして、その方が所属しているのは民主党でございまして当時の私の認識を率直に述べたまでであります。

JR革マル浸透問題の国会追及は、遂に、田城議員の問題にも及んでいる。平沢議員は、関係者の参考人招致を求め、引き続き追及する見解も明らかにした。民主党は早急にJR総連・東労組との関係を絶ち、この問題の真相解明に立ち上がっていただきたい。